

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(みちびき・はぐくみ)

## 「あそびながら脳の活性化」事業

### 子どもたちと大人が分け隔てなく 一緒に体を動かして脳の活性化を促す

かつては近所の空き地や学校の校庭などに異年齢の子どもたちが集まり、自由に遊ぶことができていた。それが自然と子どもたちの心身や脳の発達を促していたのだが、そうした時間や場所が子どもたちから失われるようになってきた。子どもたちからそうした環境を奪い、その発達を妨げているのは、実は大人ではないのだろうか？



イベントを告知するチラシ



脳を活性化させるプログラムを実施

### 遊びを通して発達していく子どもたちに 身体を使って遊ぶ習慣を根付かせたい

2013年に設立されたNPO法人「子育て応援ワクワクピース」は、大分県内で子育て中の保護者のストレス解消のための講座や、発達障がいの子どもの育児中の保護者に向けてのイベントや講座を開催している。さらに平日の放課後や夏休みなどの長期休暇中に大分市内で学童保育を開校しているほか、年2回、子どもたちのためのキャンプを実施している。

昨今の子どもたちには「身体や脳の発達の遅れ」や「コミュニケーション能力の低下」、「異年齢同士の関わり」の減少などが見られるようになったと言われている。それに伴い、小学校に入学しても授業中に立ち歩いたり、問題行動が増加したりといった問題に加え、骨折などのケガ、小学生の生活習慣病など、運動不足が原因と思われる

深刻な問題が多発している。

子どもは「遊び」を通して脳を発達させ、原始反射を統合することで発達していく存在である。そこで同法人では、遊びながら全身運動をすることで身体を動かす楽しみや面白さを体感してもらい、力いっぱい身体を使って遊ぶことを習慣にするきっかけづくりとして、また一緒に遊ぶことで仲間との関わり方やつくり方を学んだり、親子で遊ぶことで絆を深めたりすることを目的に、幼児から小学生までの子どもと親を対象に、遊びながら脳を活性化する事業に取り組んだ。

実施にあたり、同法人ではAJOSCの助成を活用して安全性の高い運動マットやトランポリンなどを購入した。また、大分県教育委員会や大分市教育委員会の後援を得ることができたため、小学校などで案内チラシの配布やポスター掲示ができ、参加者の輪が広がったという。

### 全身で運動を体感してもらうために バラエティに富んだメニューを用意

同事業は、2018年7月15日、8月25日、10月20日、12月2日、2月10日の5回開催され、親子で延べ181組が参加した。場所は大学の体育館や公民館集会室を借りて実施した。毎回、ほぼ同内容で、受付後、13:00~13:30に開会式、プログラム説明、準備運動体操、13:30~16:00まで雑巾がけリレー、運動マットを使ったマット運動、トランポリンを使ったジャンプ、ペダルなし自転車での障害物レース、風船バレー、長縄跳び、ハンモック布での人間運びレース、ビーチボールドッジなどを行い、閉会式後に解散という流れであった。

閉会式後、参加した子どもたちからは、「体が動かしや

すくなった」「足がよく上がるようになった」「まわりがきれいに見えるようになった」「片足で立ったときにグラグラしなくなった」といった声が多く聞かれたという。また、保護者からは「イベント参加後に小学校の担任の先生から、授業中に落ち着いていること、情緒が安定していること、学習への取り組み方が改善されたことなどをほめられ、驚いている」という反響もあったという。

同法人では、「チラシやポスターの効果もあり、これまで私たちの通常の活動では出会う機会がなかった子どもたちや保護者と出会うことができ、小学校での過ごし方や友だち同士の関わりで悩んでいる子どもや親に、一時的ではあるが拠り所となる場所や時間を提供できたのではないかと振り返っている。



子どもたちはユニークな遊びに夢中となった



頭と体を動かすプログラムは大変好評だった

助成団体:特定非営利活動法人 子育て応援ワクワクピース <http://wakuwakupeace.com/>



### 様々な方に「遊び」の大切さをお伝えすることができました

このたびは助成していただき、ありがとうございます。今まで活動をしていて、屋内施設で活用できる安全性の高いマットなどの運動機器があれば……と思っていたことが実現できました。参加した子どもたちがとてもうれしそうに興奮して遊び、保護者も子どものように楽しそうに遊び、親子で遊びを通してコミュニケーションを取ることができました。

特定非営利活動法人 子育て応援ワクワクピース  
代表理事 漆間文代さん